
本当は...

如月 明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本当は…

【Nコード】

N7760X

【作者名】

如月 明

【あらすじ】

桂の助けた女の子は今まで、『男』として育てられ、男らしく成長した。だが、彼女の本当の姿は…

(前書き)

特に前作からの成長ぶりが見られません。

説明っぽいのが長くても見てやんよ)・(ノって方はどどど。

本当は…

ひ) 朝ご飯出来ました。

桂) うむ。

朝食が出来たと言ったのは、ひろみ。

この間路地裏で傷だらけで、倒れていたのを俺が拾った。

今では傷も癒え、すっかり元気になった。

話に寄れば、ひろみの父は攘夷派で2〜3カ月前に病死したらしい。それから、ひろみは父が率いていた攘夷派の者達を再集結させるため、奮闘していたが、その矢先天人の勢にやられ、瀕死の状態である路地裏まで辿り着いたという訳だ。

ひ) 今日は何をするんですか？

桂) そうだな…

最近ひろみと活動をしている。

といっても、簡単な仕事だけだが。ひろみは、名前からも分かる通り『女』だ。

ひろみの家は代々武士の家柄で女子など生まれたことがなかったらしく、ひろみは『男』として育てられた。

なので、最初倒れているひろみを見た時は、男装の上に「侍」独特の眼光を向けられ、『男』だと思っていた。

だが、その後長屋に連れ帰り手当てをしてもう一度顔を見ると、男

装などもつたいないほどの美しく可愛らしい顔をしていた。それで『女』だと確信したのだ。

が、ひろみは『女』扱いが嫌いで、「『翔也』って呼んで下さい。今までそれで通してたので。」とまで言う始末だ。

俺は『ひろみ』の方が良いんだが……／＼

とはいえ、仕事の際は真面目な顔に変わり、正しく『美男子』だった。

エ) 『桂さん、説明が長いです。先行ってますよ。』

桂) 仕方ないだろう。

作者には語らせたくないからな。

ひ) 桂さん、会合に遅れるのでは？

桂) では、行くか。

2人は会合の場へ急いだ。

・と、その時。

『ドガアアア』

2人をめがけてバズーカが撃たれた。

沖) 桂、今日こそお縄についてもらいやすぜい。

あと、そっちのお連れさんもねい。

桂) フツ。捕まえられるモノなら捕まえろ…

『ズドオオオン』

桂) 今セリフの真つ最中だったよね?!
コレおもいつきりぶち壊したよね?!

ひ) 桂さん、あれ真選組ですよね?

桂) そうだ。

ひ) …翔也は先にk…

『ガキイイン』

沖田は桂に斬りかかっていた。

沖) 随分と余裕ですねィ。

桂) カス相手に焦る必要など無いからな。

ひ) 桂さん!

桂) 構うな! すぐ行く。

・と、またその時。

N) (さっきに出てこいやクソが。)

土) 誰がクソだ!?!?

どんだけ毛嫌いされてんだよ俺!!

沖) うるさいでクソ。

とつとそつちの奴捕まえて下せエ。

土（あ”あ？

言われなくてもそうすんだよ？

ひ（この人は確か…）

『シュツ』

ひ（っ！

土方の一太刀をひろみは間一髪でよけた。

土（中々やるじゃねエか。

ひ（この人…強い！…）

ひろみも応戦した。

『ボワン』

桂（翔也、行くぞ！

ひ（はいっ！

煙幕の中土方の刀がひろみかすり、着物上部と中のサラシが斬れた。

ひ（！！

桂（逃げるぞ！

ひ) はっはい!

2人は瞬く間に消えた。

沖) あーあ。また逃げられやしたねィ。
誰かさんのせいだ。

土) テメーも同じだろーが。
それより…アイツ、怪しいな。

沖) 土方さんに比べれば、あの『女』なんてちっとも怪しくないで
さア。

土) 総悟も気付いてたんじゃねーか。

沖) 女だから手を抜いたんですかィ?

土) いつでも捕まえられっからに決まってるだろ。

くその夜く

桂) ひろみ、今日は大変だったな。

ひ) …いえ、大丈夫です…

桂) だが、顔色が悪いぞ?

と、ひろみの方に手を伸ばすと

『ピシッ』

ひろみはその手を払いのけた。

ひ(す、すいません…

桂(…あの時だな？

ひ(…！……>コクン<…

桂(怖かったのか？

ひ(……悔しいんです…女ということが…女になんて生まれなきゃ…

ひろみは泣き出してしまった。

『ギョッ』

ひ(…か、桂さん？

桂はひろみを抱きしめた。

桂(俺はひろみが女で良かったぞ。

ひ(…どうして…？

桂(純粹に…愛せるからだろう。 / /

ひ(愛する…？ / /

桂) そうだ。だから、少なくとも俺の前でだけは…『女』でいてくれないか？

ひ) …はいっ… / / /

弱みはほとんど見せず男らしい奴だ。

だが、本当は…支えてやらねば崩れ落ちてしまうほどの可愛い奴だ… / /

(後書き)

〈後書き〉

結局誰にしようか迷った結果、桂になりました。

本当のトコ言つと、違うキャラで、もっとヒロイのにしようと思つたんですけど…

ただのノロケ駄文になっちまいました。

やっぱ『甘』は難しいです。

まあ、『裏』もカスですけど。

今後は日和と銀魂のサンドイッチでいきたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7760x/>

本当は...

2011年11月13日09時37分発行